広報 いまかね

技能をみがき産業の開発に努め豊かな町にいたしましょう。（町民憲章より）

タイヤ公園で元気いっぱい

1,000本余りのタイヤで、ピラミッド、ブランコ、つり橋、トンネル、砂場などの遊び場が旧高校跡の一角にお目見えしました。商工会青年部が支庁振興事業の補助を受けてつくったタイヤ公園だ。

立冬も過ぎ、寒さもきびしくなりましたが、ウサちゃん公園に続くプレゼントに、子どもたちは元気いっぱいはねまわっています。

73年 11月号 No. 185

消防一筋の西田さんに
晴れの叙勲

三十六年間にわたり消防団員として町民の生命財産を守り続けてきた西田刄蔵さん（旭町・72歳・写真）に秋の叙勲で勲六等単光旭日章が贈られました。

西田さんは、昭和十二年二十六歳で利別村消防組に入組、たび重なる市街地の火災に卒先して出動したのはもちろん、〃当時の貧弱な消防力を充実するため、家業のかたわら寄付金集めや常備職員の配置に努力した功績は高く評価されています。

また、責任感が強く円満な人柄がかわれ、二十四年から現在まで副団長をつとめ、三十二年からは本部長も兼務するなどその大手を部下団員の統率、指揮にあたり信頼を一身にあつめています。

三上さんには 道社会貢献賞

昭和十八年から三十年間も統計調査員として統計思想の普及向上に尽力した三上信一さん（金原・64歳・写真）に道社会貢献賞が贈られました。

三上さんは、農業を営むかたわら国勢調査六回をはじめ農林業センサス、農業基本調査など毎年欠かさず従事し、また、金原連合部落会長、金原小中ＰＴＡ会長などもつとめています。

なお、統計功労者として長谷川金次さん（御影）松永栄さん（八東）近藤利光さん（八東）＝以上二十年級、水野伊三郎さん（鈴金）＝五年級、にそれぞれ知事から感謝状が贈られました。

五代目院長に中西先生
国保病院

国保病院の前院長、池下先生の後任に中西浩一先生（35歳・写真）が五代目の院長に就任しました。

中西先生は、昭和四十年札幌医科大学を卒業後、同医大第一内科で研究を続けられ、四十五年から熊石町国保病院の副院長を勤めていました。専門は消化器系統で、四十七年七月には博士号を取得しています。

「地域住民の健康を守る基幹病院としての役割を果たすため、まず医療器械を充実していきたい。」と、控え目に抱負を語っていますが、温厚な人柄から内に秘めたファイトは相当なものと感じられます。趣味は、川釣りとのことです。

永年勤続の議員と町職員を表彰

町では、褒章条例により永年勤続の町議会議員と町職員を、十一月三日町民センターで次のとおり表彰しました。

▽町議会議員（五期以上）今野伝、加藤五郎、丸山九内、藤村徳蔵、長谷川敬一

▽町職員（二十年以上）古畑正勝、今野佑、吉田英俊、大塚勝三、芳賀鈴夫、笹森陽子

ありがとう 献血功労者

〃愛の献血〃は、町民のみなさんの理解と協力で献血車による採血率も上昇しており、多くの尊い生命が救われています。

これまでに二十二回献血に協力した小西敏明さん（末広町）に日本赤十字社から金色特別社員章、また、十回以上の次の方々には銀色特別社員章が贈られました。

栗山幸雄（東町）栗山ハナ（東町）佐々木哲也（末広町）高田純子（本町）本間行雄（東町）奥井忠男（栄町）杉林睦子（南町）佐久間優一（本町）秋山芳夫（本町）池田常磐（八東）今野佑（高美町）佐瀬秀義（高美町）

広報ファイルを配付

広報〃いまかね〃の保存にと、ファイル（表紙カバー）を全世帯に配付しました。

ファイルは、高原綾菊牧場と町民センターの美しいカラー写真で色どられ、町民憲章やくらしの知識なども載っており、二年分ほどつづれます。

広報紙は、町政と家庭を結ぶかけ橋としてだけでなく、町のあゆみをしるすものとしての役割もあります。たいせつに保存しておきましょう。

◎町職員の人事◎

〔十月十五日付〕

▽町民課住民係長兼交通安全係長　宮沢昭雄▽国保病院庶務係長兼経理係長　大塚勝三

納期内に納めよう
国民健康保険税（五期）
十一月三十日まで

社会開発計画　その2

生涯を通じての教育
予防とスポーツで健康管理

【保健衛生】

町民の健康保持は相当改善されてきましたが、先進地域に比べ成人病、乳児の死亡率、母子保健など著しい遅れを示しており、これを打破する必要があります。このため、保健婦の確保と、保健所や町内の医療機関との密接な連携により、各種の予防接種、定期検診の徹底、日常の衛生教育、生活指導を推進します。

国保病院は、町民に密着した基幹病院として医療技術の高度化と設備の充実など総合的な整備を早急に進めます。また、夜間の緊急受診のため、当直医療機関制を取り入れる必要があります。

おもな事業＝へき地患者輸送車導入、国保病院の増改築、医療器械の整備、医師住宅の建設

【公害対策】

公害はむずかしい問題が内在していますが、地場産業の育成や将来誘致する企業についても公害の未然防止を基調として、発生源に対する指導や規制を行い、産業振興と生活環境の調和を図ってその対策を推進します。

おもな事業＝悪臭処理

【教育文化】

住みよい町、文化水準の高い町づくりのため、次代をになう子どもを健全に育てなければなりません。近年、児童生徒数の減少がみられ、今後もこの傾向が続くものと思われます。これによる人口の中心市街地集中が予想されるので、学校の統廃合を行い、施設の万全と通学の足を確保します。また、老朽校舎の改築、給食センターの設置など学校環境の充実を図ります。

最近、社会構造や生活様式の急激な変化に適応する生涯を通じての教育が要求されています。

町民センターを中心に施設を活用した各種学級、講座の開設、青少年、成人、婦人、家庭教育の効果的な推進など、指導体制の確立に努力します。

スポーツの底辺人口を拡大し町民の健康と体位の向上を図るため、各種社会体育施設の整備充実、スポーツ少年団の育成、指導者の養成を推進します。

おもな事業＝学校給食センター新設、中学校統合校舎建設、町民体育館建設、運動公園整備、スキージャンプ台整備、スポーツ巡回車導入

体育の日の「みんなで遊ぼう会」生活にスポーツを取り入れるのも健康管理のひとつ。

この冬大流行の恐れ
インフルエンザ

ことしの春にB型ウイルスによるインフルエンザが流行し、町内の学校でも学級閉鎖されましたが、これから冬にかけて再び大流行する恐れがあります。

B型ウイルスによる症状は、他のインフルエンザと特に異なりませんが、突然三八～四〇度の高熱で発病し、頭痛や腰痛、全身けん怠、またのどの痛みやせき、鼻水などがでてきます。三、四日で熱も下がり、一週間ぐらいでなおるのが普通です。

単なるカゼといいかげんな気持ちでいますと、肺炎や結核、心臓病などを併発したりして、とりかえしのつかないことにもなりかねません。

インフルエンザを防ぐためには❶栄養を十分にとる❷適当な運動でからだを鍛える❸休養と睡眠を十分にとる❹外出から帰ったときはウガイをする―などとともに予防接種を受けることもたいせつです。町では、十二月初旬から各学校に出向いて実施します。[illegible]

日程は、後ほどお知らせしますが家族そろって受け、健康で楽しい冬を送りましょう。

適確な防除方法がないカメムシ

今金市街地裏山一体や美利河でスコットカメムシが大発生していますが、今金保健所で道立衛生研究所に照会したところ「北海道では永年にわたり被害を受けているが、今だに適確な防除方法がなく被害を少しでも減少させる対応処置を講ずるよりない」など、次のような回答がきました。

▽人家へは、冬眠活動を開始する秋季に建物の狭いすき間を本能的に好んで侵入する。冬は、冬眠のため人家に潜んでいる。

▽侵入する時期は低湿期で、殺虫剤を使用してもほとんど効果がなく、かえって刺激を与え悪臭が増大する。

▽確実に張られた防虫網は効果があるが、二～五㍉のすき間にも容易に侵入するので、いい加減な補修はかえって誘導する。

▽捕集する時は、瞬間的に殺すか箒などで払い落すようにして古封筒や紙袋に受けて、早めに袋ごと焼きすてる。電気掃除機による捕集もよいが、ムシをあま[illegible]

5億円の町づくり

ことしの建設工事

私たちの町〝今金〟を住みよくするため町では、生活環境、教育施設、経済基盤、社会福祉の整備充実を柱に、ことしも約五億円にのぼる建設事業を計画しましたが、初冬を迎えて工事は急ピッチ。

約十八億円余の国、道費導入事業と合わせ、北部緑山の中心農業都市として大きく生まれ変わってきています。

おもな建設工事を写真でみてみましょう。

消防庁舎、二年計画で

消防庁舎は、ことしから二カ年計画で新築されますが、役場庁舎横の敷地で基礎工事が始まりました。鉄筋コンクリート二階建てで延べ面積は七百三十平方㍍、総工費五千七百万円です。

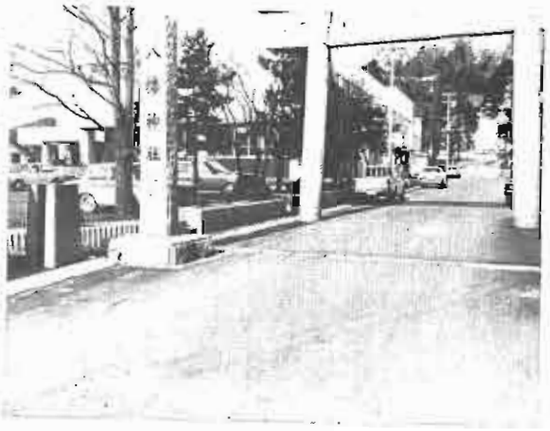
老朽化した啓団地の公営住宅を取りこわし、新たに一種八戸、二種十戸を建設。十一月中に完成の予定です。

町が援助し、社会福祉法人光の里が建設している精神薄弱者更生施設は、恵まれた環境の神丘にその外容を表わしてきました。2月中に完成の予定ですが町民の善意も相次いでいます。

各種の集会や研修の場にと昨年の種川に続き、ことしは豊田に生活館を建設しています。12月中旬に完成します。

今金小も完成へ

6カ年計画の今金小改築工事は予定より1年早く12月中旬完成します。総工費27,600万円をかけたモデル校舎に子どもたちも大喜び。



待望の町民センターが完成しましたが、宮前線の舗装、排水溝も整備、きれいな環境になりました。

町道は、下金原橋（写真）と濁川橋の永久橋化をはじめ、中雄線の街路事業、旭線、種川停車場線の舗装など着々と整備されています。

花石の簡易水道工事は、現在配水管が布設（写真）されており、十二月中旬までに給水の予定です。なお、宝田、トマンケシ地区にも簡易給水施設が設置されました。

親が良い手本を示すこと

交通安全協会長　松浦武雄

車道と歩道の区別のない道路で小さな子どもさんがひとりでよちよち遊んでいるのを見かけ、思わず「ドキッ」とすることは、私だけでないと思います。

交通事故の統計で、歩行者の年齢別死者を見ますと、幼児が二五%を占めています。

かわいい幼児を交通事故から守ることは当面の課題ですが、これは他人にまかせることなく、日常の家庭生活の中で考えていくことがたいせつだと思います。

交通安全教育は、よちよち歩き始める赤ちゃんのときから始まるといわれています。

親が良い手本を示すこと。そして、繰り返し、繰り返し教え込むことです。子どもは、いったん身につけたきまりや習慣をしっかり守る習性をもっています。

お母さんがたは❶信号を守る❷標識、標示にしたがう❸交通量の多い道路や踏切の近くで遊ばせない❶幼児が道路を歩いていたら手助けをする❺道路での自転車遊びをさせないーなど、交通のきまりを知っておくことが必要です。

みんなの心構えと自覚で

交通安全指導員　白石光喜

交通事故死全国一の汚名返上もさることながら「事故を少しでも減らしたい」と交通指導に当っていますが、事故が起きたと聞くなり冷水を浴びたようにギクッとします。それは、負傷した人、負傷させた人、それが歩行者であれ運転者であれ、皆同様に被害者になる事を考えたとき、どうしたらそれを防げるのだろう、どんなアイデアをぶつけたらよいのだろうと、いつも腐心しています。

明るく楽しい家庭も一瞬にして消え去る交通事故。

道路をよくするとか、規制を強化するなど、いろいろな対策が考えられていますが、要は、歩行者も、自転車に乗る人も、車を運転する人も、もう少し初歩的な原点にたって決められた法や規則に素直にしたがい、自分で自分を守る積極的な心構えと自覚をもってくれたら、悲惨な交通事故は必ずなくなると確心し、今後も指導を続けたいと思います。

交通ルールをよく守って

交通安全指導員　岡本進

私が街頭指導をしていて特に目だつことは、歩行者の信号無視が多いことです。

子どもやお年寄りの死亡事故が多い現況に対しても、今一度路上における歩行義務の反省が十分かがえるところです。

事故にあってから悔やむよりも日ごろの交通法規と交通道徳の認識がたいせつなことではないでしょうか。

秋も深まり、いよいよ冬将軍のおとずれと年末を控えて、車の運転手、歩行者にとっては、朝夕の冷え込みによる路上のスリップなど思わぬ事故が発生する時期でもあります。運転者は、冬の特殊条件をよく理解し、交通環境に対応した交通ルールをよく守ってもらいたいもの。また、これからは寒さもきびしくなり「チョッといっぱい」の機会も多くなると思いますが、酒を飲んでの運転は絶対しないようにしましょう。

明るい家庭は健康が第一です。一人ひとりの努力で、交通事故だけは絶対起こさない町にしたいものです。

30歳を過ぎたら婦人科検診を

ことしの婦人科検診は、十二月十五日と十七日町民センターで行われます。

年々検診を受ける方がふえ、子宮ガンの予防、早期発見に役だっています。他のガンに比べて検査も簡単にできます。

三十歳を過ぎたら、年に一回は検診を受けましょう。希望者は、役場衛生係に申し込んでください。先着二百人までで、費用の自己負担は三百五十円です。

☒感謝します☒

◇九月の集中豪雨により大きな災害を受けた渡島南部の方々を救護するために、各部落町内会を通じて二十七万四百五十一円（十月三十日現在）の義援金が寄せられ、町では、さっそく日赤北海道支部を通じて被災者に贈りました。

◇光の里建設資金に、瀬棚町手をつなぐ親の会から五千円、長谷川敬一さん（日進）から病気全快祝返しをやめて二万円、町青年団体連絡協からダンスパーテーの益金七千四十五円、細田征夫さん（高美町）から結婚を記念して五千円がそれぞれ寄付されました。

東京でドドーン

特場太鼓、今金をPR

大観衆に雄壮なバチさばきを披露

今金が誇る郷土芸能〝狩場太鼓〟が誕生して二年、念願だった東京の晴れ舞台を踏みました。

これは、道観光連盟が東京都池袋の東武デパートで開いた北海道の物産と観光展のアトラクションに選ばれて、十月二十、二十一日の両日出演したものです。

狩場太鼓は、商工会青年部が郷土の心の寄りどころになるような〝はやし〟をつくろうと、昭和四十六年八月の産業まつりに生まれたもので、作曲、振り付けの加賀谷定さん（八雲町）をはじめ、打ち手はみな商店の若い働き手。

町内の催しはもちろん、最近では函館、札幌にも引っ張りだこ。特に昨年十月には、商工会青年部の北方領土返還キャラバンに参加ノサップ岬で〝島に響け〟と太鼓を打ち鳴らし、一躍有名になりました。さらに、ことしは全道太鼓大会に出場し、道観連に認められて今回の出場になりました。

デパートの特設舞台では、狩場山ろくでの猛練習で自信満々。「春は淡い陽の光の中に残雪が目にしみる山……」の由来記をバックに、空色の半天に豆絞りのはち巻きで「オーリャー」の若さあふれるかけ声、ドーン、ドドーン、タッタ、と力強い太鼓の音が広い店内いっぱいにこだま、集まった観衆から大きな拍手を浴びました。

また、今金の産業と観光を紹介するパンフレットもくばり、踊連今金のPRにもひと役買いました。

おしらせ

■身障者職業訓練生を募集

砂川市の道身体障害者職業訓練校では、昭和49年度の訓練生を次により募集しています。

▷応募資格　義務教育修了程度の学力があり、障害部位の症状が固定している人。
▷入校期日　昭和49年４月
▷訓練科目　洋服、建築製図、印刷技術、時計修理、木材工芸、電子機器、写真植字など。
▷訓練期間　１年
▷入校中の経費　無料
▷寄宿舎　全員入寮できます。
▷詳しくは、役場福祉労政課へ。

■危険物取扱者は講習を受けよう

危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者の保安に関する講習会が次により開かれます。昭和44年５月31日以前に免状の交付を受けた人は必ず受講しなければなりません。11月30日までに桧山支庁に申し込んでください。

▷講習科目　危険物関係法令の改正点、危険物施設の問題点や保安対策、安全管理の知識など
▷講習日　12月10日から49年３月10日までに指定する日
▷講習場所　江差町
▷受講手数料　800円

■年賀状は12月22日までに

年末は平常時に比べてどうしても郵便物の差し出しが多くなります。贈答用小包は12月15日までに年賀状は12月15日から22日までにお出しください。

同居者やお子さんあての郵便には、世帯主の肩がきを忘れずに書き、また、郵便番号は正しくはっきり書くと早く届きます。

（今金郵便局）

くらし

注意しよう　灯油の取り扱い

灯油の使用量が多くなるシーズンになりました。

灯油の危険性を無視した取り扱い、また、慣れすぎによる不注意などから事故を起こさないようにみなさんの家庭でも灯油の正しい取り扱いをよく守り、楽しい冬を過ごしましょう。

▽百ﾘｯﾄﾙ以上貯蔵するときは町長に届け出て『少量危険物取扱所』の表示をする。（一般家庭で貯蔵できるのは五百ﾘｯﾄﾙ未満）
▽屋外の場合、可燃物から二ﾒｰﾄﾙ以上離し、できればモルタルで囲むなど安全な設備をする。
▽石油ストーブへの給油は、必ず火が消えたあとにする。
▽油量計に示されている一定量以上は、絶対に入れないようにする。
▽給油したあとのこぼれ油は、完全にふき取る習慣をつける。
▽石油ストーブの付近には、燃えやすい物を置かないように注意する。
▽外出するとき、寝るときは、石油ストーブを必ず消す。
▽ストーブの中や燃料調節器のまわりの掃除をする。
▽近所に老人、心身障害者宅などがあれば、正しい取り扱いをやさしく指導してあげる。

農地の売買

農業委員会のあっせんで 税制上にも利点

農業経営の安定と向上を図るためには、まず経営地を拡大してゆくことが必要です。このため、農地の売買が経営規模の拡大、農地の集団化などに役だつよう「農地移動適正化あっせん事業」を実施しています。

この事業は、農地を売りたい、あるいは買いたいという人が、農業委員会にその旨を申し出ると、委員会が適当な買い手、売り手を決めてあっせんをすることになっています。このあっせんによって売買をすると、次のような恩恵を受けることができます。

まず、税金の関係では、あっせんにより農地を売ると、譲渡所得税の計算で二百五十万円の特別控除があります。また、あっせんにより農地を買った場合には、登録免許税の税率が千分の五十から千分の六に軽減され、さらに不動産取得税の課税額も価格の三分の一が控除されます。

次に、農地取得の資金については、あっせんにより買う場合、農林漁業金融公庫の取得資金（利率三分五厘、二十五年償還）を優先的に借受することができます。

このほか、農業構造改善事業実施地区内では、委員会が必要な土地の測量をしてくれます。

なお、売買の相手方を自分で決めてからあっせんの申し出をしても委員会はあっせんをしないことになっていますので、農業委員会に事前に申し出ることがたいせつです。

スポーツ障害保険で安心してスキーを

もうすぐスキーシーズンですが年ごとにケガをする人もふえています。このため、スポーツ障害保険は、冬季スポーツに対し十二月末まで加入できるよう特例を認めることになりました。

安い掛金で万一の保障をします。

十人以上のスポーツ団体や社会教育団体の構成員が加入でき、ひとり当り年間百円から二千六百円までの保険料で、死亡（百万円）のほか後遺障害、医療保険金も支払われます。

加入の手続きは町民センターで受け付けています。急いで加入しましょう。

■カニカン岳に登山道と標柱

砂金採取のロマンを秘め、町の歴史を語るカニカン岳を観光の名所に―と今金山岳会の協力で美利河別林道から頂上まで（約八㌔）の登山道を整備、引きウス跡などに標柱を立てました。

住民の動態

	前月に比べて	
人口	10,331	(−250)
男	5,106	(−86)
女	5,225	(−164)
世帯	2,709	(−30)

（9月29日現在の住民基本台帳人口）

◎たんじょうおめでとう

中林 功晶（清一 二男）旭町
河田 直樹（正芳 長男）神丘
丸山 陽子（良祐 長女）美利河
金丸 武（良治 長男）中里
石戸谷 啓（穣 長男）中里
鎌田 恵美（裕 長女）稲穂
山崎 優子（武美 二女）末広町
須甲亜希子（五郎 長女）南栄町
秋田 隆（正夫 二男）末広町
千葉 洋明（晴雄 三男）種川
海谷佳位子（春男 長女）日出町
原田 智恵（民治 二女）種川
田畑 里恵（弘雄 二女）八束

◎いつまでもしあわせに

佐藤 弘一＝伊藤千津子 鈴金
杉内 浩二＝加我とも子 昭和町
佐藤 政寿＝高野 文子 種川
伊藤 利忠＝安藤 福子 中里
遠山記代次＝林 淳子 種川

◆おくやみもうしあげます

菱田 精一 五十九歳 八束
田中 ヨキ 九十二歳 鈴金
井島 則和 零歳 緑町
加藤 シヅ 六十一歳 緑町
佐藤 末松 五十九歳 花石
大西 信明 八十歳 八幡町

（九月分）

―広報― トピックス

■町内小中学生の書道、美術展

三百八十八点が展示され、十一月一日から十日間町民センターで開かれましたが、審査の結果、次の人の作品が道中央展に出品されます。

▽美術 渡辺孝子（今金小）高畑洋子（今金中）▽書道 山崎秀志郎（神丘小）蛭子井信雄（美利河中）

発行・北海道今金町、場 編集・総務企画課 印刷・長門出版社 発行・48・11・20